

小学校特別支援学級 国語科指導案

1 単元名「聞いて、話して、解決大作戦！」

2 単元設定の理由

(1) 児童について

(略)

(2) 単元について

自分の気持ちや願いを人に伝えたり、人の思いを聞き取ったりする学習は、国語科の「聞くこと・話すこと」の内容に関わってくるものである。そのため、本単元では学習指導要領小学部〔国語科〕の「A 聞くこと・話すこと」に示されている内容に沿って、単元の構成を試みる。

また、国語科で扱われるコミュニケーション能力には、伝達の性格（マス・コミュニケーション）が強いものと、交流的性格（パーソナル・コミュニケーション）が強いものの二種類がある（茅野 2024）が、児童が今後、成長し、一社会人として多様な他者と関わり合いながら生活していくことを考えると、本単元では交流的性格の強いコミュニケーション能力の成長を図りたいと考えた。よって、本単元では交流的性格に重きを置いた「聞くこと・話すこと」の指導を行っていく。

以上のことを受けて、本単元の指導にあたり、以下の2点の工夫を行う。

1つ目は、人とコミュニケーションを行いやすくなるような学習活動の設定である。交流的性格の強いコミュニケーション能力を伸ばしていくためには、児童が自由に意見を交換できる時間の設定や、児童が意欲的に人と関わろうと思えるような課題の設定が重要になる。そのため、本単元では、校内オリエンテーリングを通して「聞くこと・話すこと」の能力を伸ばす学習を展開することとする。グループで協力して校内オリエンテーリングの課題（以下、「ミッション」と表現する）に取り組むことで、自然と話し合う場面が生まれ、交流的性格の強い「聞くこと・話すこと」の学習ができるであろう。また、活動の目的が明確な分、児童が意欲的に学習に参加するであろうことも期待できる。本単元を通して、人に自分の意見を伝える力や他人の考えを受け止める力、互いの意見が異なる際の話し合いの仕方など、基礎的な「聞くこと・話すこと」の能力の向上を図りたいと考えている。

2つ目は、児童がコミュニケーションを行いやすくするための教材教具の工夫である。今回の校内オリエンテーリングでは、児童間のコミュニケーションを大切にしながら学習が進んでいく。そのため、「一人で課題を解決するのではなく、友達と協力しながら課題に取り組む」という意識を児童にもたせる必要がある。そこで、今回のオリエンテーリングで使用する地図を通常よりも拡大し、B3サイズにする。そうすることで、地図を間に挟みながら、次に行く場所、どう行くとよいか、どうオリエンテーリングを進めるかなど、児童同士積極的に交流することができるようになるだろう。また、その巨大な地図に直接解答を記入していく仕組みにすることで、解答する際も協力しやすくなると思う。

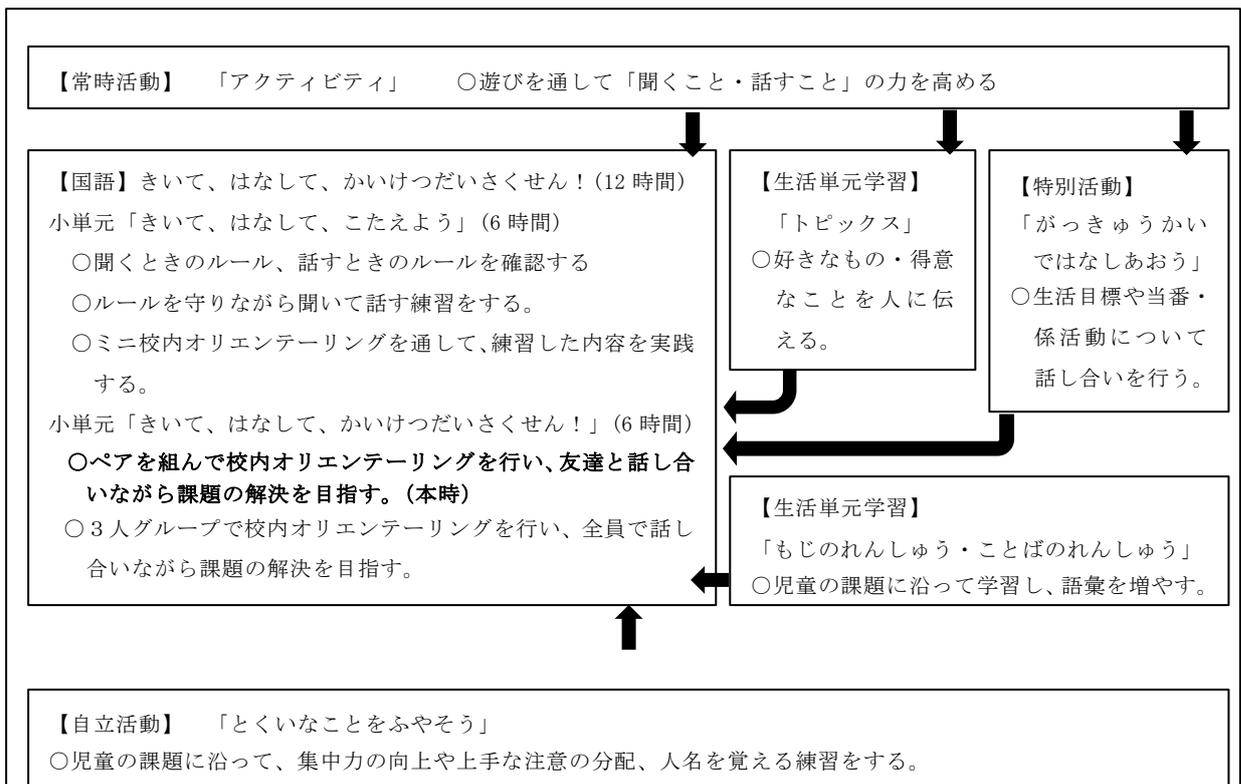
また、巨大な地図の他に、児童一人一人が自信をもって友達と交流することができるように、児童それぞれに適した支援ツールを携帯させることにする。児童の「聞くこと・話すこと」の能力の発達段階とそれぞれの特性に合わせた支援するツールを携帯することで、より効率的に本時のめあてに迫れると考える。例えばそれは、カードの形をしていたり、用語集であったり、メガホンであったりするが、どの児童にも同様に携帯させることで、特別感なく、活動を支援していきたい。

以上の工夫を行うことで、交流的性格の強い「聞くこと・話すこと」の能力を、児童一人一人の課題に沿って、育んでいきたいと考えている。

(3) 指導計画

本単元における「聞くこと・話すこと」の能力は、交流的性格に重きを置いているため、本単元の学習のみで完結するものではない。例えば、主体的に他者と交流を行っていくためには、児童同士の良い人間関係の構築が不可欠になってくるだろうし、また、活発な意見交換を行うためには、課題に関する語彙力を向上させる必要がでてくるであろう。よって、本単元に関わる他教科、他領域の学習内容と本単元とのつながりを意識して、指導を行っていく必要がある。そのつながりを教師側が強く意識し、計画的に指導、関連付けを行っていくことで、本単元を通して目指す児童の姿により近付くことができるであろう。

以下の図に本単元と他教科・他領域とのつながりを図示する。



3 単元の目標

- 人の話を集中して聞き、話題に沿って自分の思いを人に伝えることができる。
- ミッションの解決に向け、小集団での話し合い活動を行うことができる。

4 本時の指導

(1) 本時について

本時は小単元「きいて、はなして、かいけつだいさくせん！」の1時間目である。これまでの学習で本学級の児童は、「聞くこと・話すこと」に関する基礎的な学習を終え、ミニ校内オリエンテーリングを通して「聞くこと・話すこと」の実践を行ってきた。本時から3時間は、これまで培ってきた力や考え方を使って、より課題数の多い校内オリエンテーリングに取り組むこととする。

本時を通して、より状況を意識した「聞くこと・話すこと」の能力を育んでいきたい。

(2) 目標

- ・校内オリエンテーリングを通して、友達と進んで話し合うことができる。
(思考力・判断力・表現力)

(3) 展開

時配	学習活動	○全体支援 ・ 個別の支援 ◆個別の評価						教材教具	
		A児	B児	C児	D児	E児	F児		G児
8分	1 前時までの学習を振り返る	○ 前時までに学んだ聞くとき、話すときのルールや、上手に話し合うためのコツを確認する。(T1) ・ 声の大きさ、話を聞く時のルールを思い出すように声をかける。(T2)	・ 終わりまで話を聞くこと、わからないときは質問することを確認する。(T2)	・ 相手を優先しないで自分の意見を言うことの大切さを確認する。(T2)	・ 話している相手をよく見ること、わからないことは質問することなどのルールを思い出すよう声をかける。(T1)	・ 友達の話を終わりまで聞くこと、自分の意見ばかりはなさないうことの大切さを確認する。(T1)	・ 学習の目標を確認し、活動に対して意欲を持って取り組めるように気持ちの整理を促す。(T1) ・ 言葉の使い方を確認する。(T1)	・ 言葉の使い方や状況に応じた言葉遣いの変化などを確認する。(T1)	・ 掲示物
4分	2 本時の課題をつかむ。	きいて、はなして、ミッションをかいけつしよう。						・ 地図 ・ 個別の支援ツール	
25分	3 グループに分かれ、行内オリエンテーションを行う。	Low グループ		Middle グループ		High グループ			
		ミッション1 道順を相談しよう。		ミッション1 伝言ゲームをしよう。		ミッション1 電話を掛けよう。			
		◆話し合いの順序を意識して、友達の意見を聞くことができる。〔聞くこと〕(行動・発言)	◆考えるべき課題を理解し、話し合いに参加することができる。〔聞くこと〕〔話すこと〕(行動・発言)	◆活動グループの友達に自分の考えを伝えることができる。〔話すこと〕(発言)	◆支援ツールを使い、友達の伝言を聞き、人に伝えることができる。〔聞くこと〕(行動・発言)	◆適切な表現を使いながら、電話を通した会話ができる。〔話すこと〕(発言)	◆適切な表現を使いながら、電話を通した会話ができる。〔話すこと〕(発言)		

		<p>ミッション2 してほしいことを伝えよう。</p> <p>◆声の大きさに気を付けて、友達に伝えたいことを伝えることができる。〔話すこと〕(発言)</p>	<p>◆わからないことや確認したいことを聞き返すことができる。〔聞くこと〕(行動・発言)</p>	<p>◆わからないことや確認したいことを聞き返すことができる。〔聞くこと〕(行動・発言)</p>	<p>ミッション2 宝探しをしよう。</p> <p>◆入室の挨拶や目的を教師に伝えることができる。〔話すこと〕(発言)</p>	<p>◆教師の指示を聞き、行きたい場所に行くことができる。〔聞くこと〕(行動・発言)</p>	<p>ミッション2 道順を伝えよう。</p> <p>◆相手に伝わる言葉を選んで、伝えたいことを伝えることができる。〔話すこと〕(発言)</p>	<p>◆相手に伝わる言葉を選んで、伝えたいことを伝えることができる。〔話すこと〕(発言)</p>	
		<p>ミッション3 相談して、答えを決めよう。</p> <p>◆話し合いの順序を意識して、友達の意見を聞くことができる。〔聞くこと〕(行動・発言)</p>	<p>◆考えるべき課題を理解し、話し合いに参加することができる。〔聞くこと〕(行動・発言)</p>	<p>◆活動グループの友達に自分の考えを伝えることができる。〔話すこと〕(発言)</p>	<p>ミッション3 にじのクイズに答えよう。</p> <p>◆聞かれていることに対して、適切な回答を行うことができる。〔話すこと〕(発言)</p>	<p>◆グループの友達の意見を聞きながら、クイズに答えることができる。〔聞くこと〕(行動)</p>	<p>ミッション3 ポーズを伝えよう。</p> <p>◆できていること、得意なことを確認し、自信をもって活動できるようになる。〔行動〕</p>	<p>◆相手の話を聞いて、行動することができる。〔聞くこと〕(行動)</p>	
5分	4 活動の振り返りをする。	<p>○ 活動の振り返りをする。(T1)</p> <p>・一番上手に活動できたのはどのミッションか確認することで、活動を振り返りやすくする。(T2)</p>	<p>・どんな活動があったか教師と一緒に確認することで、活動を想起しやすくする。(T2)</p>	<p>・思いを伝えられた活動は何か考えることで、自分の頑張りを意識できるようにする。(T2)</p>	<p>・誰とどんなことをしたか確認することで、自分の取り組みを振り返りしやすくする。(T3)</p>	<p>・いつ友達と協力できたかを振り返ることで、友達と一緒に活動するよさに気付かせる。(T3)</p>	<p>・相手のことを考えて活動できたかを振り返り、自分の取り組みを評価しやすくする。(T1)</p>	<p>・相手のことを考えて活動できたかを振り返り、自分の取り組みを評価しやすくする。(T1)</p>	
3分	5 次時の確認をする。	<p>ともだちと きょうりよくして ミッションを かいけつすることができた。</p> <p>○ 次時も同じグループで校内オリエンテーリングを行うことを伝える。(T1)</p>							